

令和3年3月1日

保護者の皆様

知立市立知立中学校長

尾崎 淳 一

「令和2年度アンケート分析」と「令和3年度に向けて」

※「達成されている」「ほぼ達成されている」を肯定的評価として、
「あまり達成されていない」「達成されていない」を否定的評価と捉えての分析

I 確かな学力を育む教育・・・設問1～3

今年度は、新型コロナウイルス感染予防による臨時休業により、授業の再開が6月からとなった。生徒同士の話し合いや発表を行わないなど、感染予防を優先しての授業再開となり、授業時間の確保に加え、授業づくりの工夫が問われる1年となった。保護者、教員ともに「意欲的な授業づくり」で十分な評価が得られなかったことは、生徒の意見や考えを授業に活かしきれなかったこともその要因と考えられる。今後は、ICTを活用するなどにより、多くの生徒が活躍する授業づくりを心がけたい。また、課題の質と量については、保護者・生徒・教員共に昨年度より高い評価を得た。個に応じた学びの充実という観点から、課題についてはさらなる改善の余地があると感じている。

新学習指導要領の改訂や、一人一台タブレットの導入により、授業形態や学びの方向性が変わろうとしている。生徒一人一人の学びを大切にしたい授業づくりに尽力したい。

- *主体的・対話的で深い学びの実現に向け、教科部会の充実により授業改善を進める。
- *朝の学習の時間を確保し、タブレットの活用や個に応じた学習の時間に充てる。
- *一人一台タブレットの活用を図り、学び合いによる「深い学び」の実現を図る。
- *家庭学習のありかたを見直し、一人一人の習熟度に応じた学習が可能となるよう改善する。

II 豊かな人間性を育む教育・・・設問4～7

特に「いじめへの対応」については、昨年度と同様に高い評価を得た。保護者、生徒、教員ともに、いじめはいけないことだという認識がある。今後も、教育相談やひろみなどから、いじめにつながる小さなトラブルを見逃さず、迅速かつ適切に対応していきたい。

思いやり・優しい心については、保護者・教員の評価が90%を超えた。生徒自身の評価を20%以上超え、生徒の人間性を高く評価している。来年度も道徳教育に力を入れ、生徒が活躍する場を積極的に作り出すことで、生徒の自己肯定感を高めていきたい。コロナ禍で、あいさつへの意識に高まりがみられた。

- *いじめ防止基本方針に従い、小さなトラブルを見逃さず、適切な指導を行う。
- *地域に愛される知中生をめざし、生徒の自治を大切にしたい生徒指導に努める。
- *生徒の活躍する場を大切にし、取り組みを積極的に認め、自己肯定感を高められるようにする。
- *あいさつを始めとする、社会におけるルールやマナーを大切にしていきたい。

Ⅲ 健康と体力を育む教育・・・設問 8, 9

コロナの感染予防から、一年を通して部活動や体育の活動内容に制約があり、十分な活動時間を確保できなかった。「体力づくり」の保護者評価が、昨年度に比べ10%程度低くなった要因の一つと考えられる。ただし、今後も感染対策をしながら活動を工夫していく必要がある。生涯スポーツにつながる観点を大切にしながらも、体力づくりの機会を確保していきたい。

「規則正しい生活」では、感染予防のための検温や手洗い、手指消毒の徹底など、一人一人が心がけて生活することができた。保護者・生徒・教員ともに、昨年度と比べ評価は高くなった。しかし、ゲーム依存による睡眠不足やSNSの課題については今後も注視をしていく必要がある。

- * 感染予防を優先しながらも、活動の仕方を工夫することで、体力づくりの機会を確保する。
- * ICTなどを利用し、技術の向上や体力づくりに対する意欲の向上を図る。
- * 感染状況や熱中症情報など、常に最新の情報を得るように努め、適切な対応を行う。
- * 保健だよりやスマホ教室などを利用し、基本的な生活習慣の大切さを伝えていく。

Ⅳ きめ細やかな指導の充実・・・設問 10, 11

「チームとしての有効的な指導」については、保護者・生徒・教員ともに、80%以上の評価を得ることができた。今年は、学年で行事を作り上げる機会が増え、学年のチーム力がうまく発揮された。今後も多くの生徒が活躍する機会を増やしていきたい。生徒の個性に応じたきめ細やかな指導については、生徒・保護者共に60パーセント台の評価にとどまっている。個に応じた指導の充実を心がけていく。

- * 教員同士の連携を強化し、円滑な学年運営や部活動運営を行う。
- * 少人数指導を効果的に行い、個の習熟度に応じた学びを充実させる。
- * 生徒の学習状況や心の状態を敏感につかみ、必要に応じてスクールカウンセラーや適応指導担当教員などを積極的に活用する。

Ⅴ 学校、家庭、地域との連携の推進・・・設問 12, 13

感染予防の観点から、授業参観や学校公開週間の実施が12月以降となり、保護者の方に学校の様子を見ていただく機会が少なかった。今後は感染予防を徹底しながらも、学校での学びを共有できる機会を積極的に作り出していきたい。学校休業中のネット配信やコロナ対策については、70%の評価にとどまった。学校ホームページや便りなどについては、保護者・教員共に90%を超える評価を得ることができた。今年度は学校評価やスペシャルランチの注文など、ネットによる回答を実施した。更にネットの活用を検討することで、利便性を高め、迅速な情報共有となるようにしていきたい。

- * 感染対策を重視し、授業参観や学校行事などの参観について検討する。
- * ネットの有効活用により、学校と保護者、地域との情報共有を充実させる。
- * 学校、学年だより、HPなど、内容の精選を行い、より良いものへ改善していく。